

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杜のつぐみ療育園 安土園		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。	・SNSや通信では、活動の様子やお子様の様子を見て安心してもらえるような内容を心掛けています。	・定期的に内容を確認をし、楽しんでもらえるような内容にしています。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行っている。	・毎月、活動予定に入れて取り組んでいます。クイズにしたり動画を作ったりしながら、分かりやすく伝えられるよう工夫しています。	・SNSや通信を使って、避難訓練の様子をお知らせできるようにしていきたいと思っています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数は適切か。	・法令で定められた職員数は配置出来ています。送迎時など一時的に職員数が少ないこともあります。	・利用者様の特性も考慮しながら、職員配置が出来るよう努めていきます。
2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	・階段や段があり、危険と感じるような場所はあります。	・定期的に職員間で確認を行います。視覚支援や構造化を行い、ケガがないように努めていきます。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	・地域の方との交流は、ハロウィンのイベントなどでも出来ているがこどもたちとの関わりは、ほぼ出来ていない。	・地域のこどもたちにも参加してもらえるようなイベントを立案したり、地域のお祭り等にも積極的に参加していきます。